

平成17年9月20日
産業観光局

(担当 農林振興室林業振興課 222-3346)

京の山^{そまびと}人工房事業

モデル工房設置者の決定について

京都市では、京北町との合併を契機として、「森林と人との共生・木の香るぬくもりのある暮らしの創造」を提案・推進することにより、市内産木材の需要を拡大して地域林業や木材関連業界の活性化と健全な森林の保全を進めることとし、その具体策として、本年度から「京の山^{そまびと}人工房事業」に取り組んでいます。

この事業は、店舗等の一部を活用し、市内産木材を使って改装したモデルルーム（モデル工房）を発信基地として森林学習活動を展開し、森のファンを増やしてワンルーム程度の木造りフォーラムを普及させることを目的としています。

本年度は3箇所のモデル工房を設置することとしており、先日の募集（平成17年7月1日から7月20日まで）に対し4通の応募がありました。事業の審議機関である京都市域産材普及推進委員会において検討した結果、モデル工房設置者を下記のとおり決定し、今後補助申請、着工等事業を進めていきます。

記

（選定された団体）

団体名	（仮称）京町家、森の灯台
代表者	葛西 清司
設置予定場所	京都市左京区銀閣寺町25番地

団体名	森の家に住みたい会
代表者	岩井 清
設置予定場所	京都市北区紫野雲林院町13

団体名	木輪舎（きりんや）
代表者	吉川 哲雄
設置予定場所	京都市上京区堀川通上立売上ル竹屋町584番地

（敬称略）

*なお、モデル工房が完成次第あらためてその詳細をお知らせします。